



(第1号様式の2)

### 細目別評定点採点表(土木工事)

項目	細別	①現場監督員	②主任現場監督員	③検査員(中間1)	③検査員(中間2)	③検査員(完成)	細目別評定表	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点					3.3点	
	II. 配置技術者	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点					4.1点	
2. 施工状況	I. 施工管理	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点		$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	13.0点	
	II. 工程管理	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点	$( ) \times 0.2 + 3.2$ = 点				8.1点	
	III. 安全対策	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点	$( ) \times 0.2 + 3.3$ = 点				8.8点	
	IV. 対外関係	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点					3.7点	
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	$( ) \times 0.4 + 2.8$ = 点		$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	14.9点	
	II. 品質	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点		$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	17.4点	
	III. 出来ばえ			$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	$( ) \times 0.4 + 6.5$ = 点	8.5点	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		$( ) \times 0.2 + 3.3$ = 点				7.3点	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	$( ) \times 0.4 + 2.9$ = 点					5.7点	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		$( 5 ) \times 0.2 + 3.2$ = 点				5.2点	
7. 法令遵守等			$( ) \times 1.0$ = 点					
評定点合計							満点 100点	

※得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

## 工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
I. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質照明に係る体制が有効に機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由： )</li> </ul> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・a            評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b            評価値が80%未満・・・・・・・・・・c</p>	<p>①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。            ②評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。            ③ 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「C」評価とする。</p>	<p>施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示に従わなかった。</p>	<p>施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示に従わなかった。</p>	<p>施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示に従わなかった。</p>
	II. 配置技術者(現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p>【全体を評価する項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。</li> </ul> <p>【現場代理人を評価する項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 監督員への報告を適時及び的確に行っている。</li> </ul> <p>【監理(主任)技術者を評価する項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、運用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 監督(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由： )</li> </ul> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・a            評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b            評価値が80%未満・・・・・・・・・・c</p>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>やや不適切である</p> <p>配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示に従わなかった。</p>	<p>不適切である</p> <p>配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示に従わなかった。</p>

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>適切である</p>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>やや不適切である</p>	<p>不適切である</p>
		<p><b>●評価対象項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事条件の品質に影響が無いように保管している。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画に基づき適時及び的確に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画に基づき適時及び的確に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の打合せ簿を、不足無く整理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</li> <li><input type="checkbox"/> 労働保険、建設労災保険補償等加入が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理がマニフェストで確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 赤土等対策関係書類で浮遊物測定記録、見回り点検表は提出されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請け契約について、明確な工事内容、請負代金の金額、工期、代金の支払い方法等が記載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由： )</li> </ul>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>やや不適切である</p>	<p>不適切である</p>
		<p><b>●判断基準</b></p> <p>評価値が90%以上.....a                  評価値が80%以上90%未満.....b                  評価値が80%未満.....c</p>				
	II. 工程管理	<p>適切である</p>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>やや不適切である</p>	<p>不適切である</p>
		<p><b>●評価対象項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。</li> <li><input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件の変更への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 時間制限・片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由： )</li> </ul>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>やや不適切である</p>	<p>不適切である</p>
		<p><b>●判断基準</b></p> <p>評価値が90%以上.....a                  評価値が80%以上90%未満.....b                  評価値が80%未満.....c</p>				
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「C」評価とする。</p>				
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「C」評価とする。</p>				

## 工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	III. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p>「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 通積載防止に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (理由： )</p>	<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合「C」評価とする。</p>	<p>安全対策に関して、監督職員 <input type="checkbox"/> が文書による改善指示を行った。</p>	<p>安全対策に関して、監督職員 <input type="checkbox"/> からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
	IV. 対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p>「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な連携に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (理由： )</p>	<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合「C」評価とする。</p>	<p>対外関係に関して、監督職員 <input type="checkbox"/> が文書による改善指示を行った。</p>	<p>対外関係に関して、監督職員 <input type="checkbox"/> からの文書による改善指示に従わなかった。</p>

工事成績採点の調査項目別運用表

(現場監督員)

調査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格外を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格外を満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格外を満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。
1. 出来形	※ばらつきは別紙-4参照。				
機械設備工事	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d	e
※上記欄以上から当該欄で評価	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるように、出来形管理図などを工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備全体にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩擦、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p>(理由： )</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a          評価値が80%以上90%未満.....b          評価値が80%未満.....c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p> </div>				

工事成績採点の調査項目別運用表

(現場監督員)

調査項目	工種	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  1. 出来形	電気設備工 事・通信設備 工事・受変電 設備工事  ※上記欄によ らず、当該欄 で評価	適切である  ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 設備全体にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的に実施している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどにより易く堅固に取り付けられている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	e <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合「C」評価とする。				

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。  ※ばらつき判断は別紙-4参照。  ① 品質の評価は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事事務的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。  ほぼ適切である	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。  他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示した。  品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。  契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。
工種  機械設備工事  ※上記欄によらず、当該欄で評価	適切である	ほぼ適切である	c	d	e
	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）の内容が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾書のとおり配置し、操作性にすぐれている。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線・配管が、承諾書のとおり敷設している。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品の交換作業を容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験補りが実施され、試験成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> ハルプ類の平時の状態を示すラベルなど見やすい状態で表示している。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の危険箇所を表示又は防護をしている。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 （理由： ）	ほぼ適切である	c	d	e
	●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が80%未満・・・・・・・・・・c	ほぼ適切である	c	d	e
	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。	ほぼ適切である	c	d	e

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	工種	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	e 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II. 品質</p> <p>電気設備工事・通信設備工事・受変電設備工事</p> <p>※上記欄以上から、当該欄で評価</p>		<p>適切である</p>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。</p>
<p>維持・修繕工事</p> <p>※上記欄以上から、当該欄で評価</p>		<p>適切である</p>	<p>ほぼ適切である</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。</p>

●評価対象項目

- 製作着事前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。
- 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書にまとめられている。
- 機器の品質、機能及び性能が、設計図書に満足し、成績書にまとめられている。
- 操作スイッチや表示灯が承諾書のとおり配置され、操作性にすぐれている。
- ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がない。
- 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。
- 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動の確認ができる。
- 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。
- 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。
- 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。
- 完成図書で定期的な点検及び交換を要する部品及び箇所を明示している。
- 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。
- その他  
(理由: )

●判断基準

評価値が90%以上.....a  
 評価値が80%以上90%未満.....b  
 評価値が80%未満.....c

① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。  
 ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「C」評価とする。

●評価対象項目

- 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。
- 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。
- 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。
- 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案を行っている。
- その他  
(理由: )

●判断基準

評価値が90%以上.....a  
 評価値が80%以上90%未満.....b  
 評価値が80%未満.....c

① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。  
 ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「C」評価とする。

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	工夫事項
5. 創意工夫	I. 創意工夫	【施工】 <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 足場工、足場工及び仮設橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 盛土の縮固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。 <input type="checkbox"/> *本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工法。 <input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 <b>【新技術活用】</b> <input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち試行技術を活用し、活用効果調査を提出している。 <input type="checkbox"/> *本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち活用した試行技術が「少実績優良技術」である場合又は発注者による活用効果調査結果の総合評価値が120点以上であった場合。 <input type="checkbox"/> *本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> NETIS評価情報技術のうち「少実績優良技術」を除く「有用とされる技術」を活用し、活用効果調査を提出している。 <input type="checkbox"/> *本項目は4点の加点とする。 <input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち試行技術及び「有用とされる技術」以外の新技術を活用した結果、発注者による活用効果調査結果の総合評価値が120点以上の場合。 <input type="checkbox"/> *本項目は4点の加点とする。 *新技術の活用に関する上記4項目での加点は最大で4点とする。 <b>【品質】</b> <input type="checkbox"/> 土工、設備 電気の品質向上に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブール、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 配筋・溶接作業等に関する工夫。 <b>【安全衛生】</b> <input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会の定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 <input type="checkbox"/> *本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止冊、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 現場事務所、労働者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 一有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。 <b>【その他】</b> <input type="checkbox"/> その他 理由： <input type="checkbox"/> その他 理由： <input type="checkbox"/> その他 理由： <input type="checkbox"/> その他 理由： <input type="checkbox"/> その他 理由： 
記述評価	【レマークを付した評価内容を詳細記述】	【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的な内容を記載
評点：	点	

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。  
 ※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1, 2, 4点で評価し、最大7点の加点評価とする。  
 ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。  
 ※4. 上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。  
 ※5. 工夫事項の評価(選定)及び詳細評価は、副部長及び担当課長との合議をもって記述する。  
 ※6. 主任現場監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

## 工事成績採点の調査項目別運用表

(主任現場監督員)

調査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	<input type="checkbox"/> やや優れている 	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない 	<input type="checkbox"/> やや劣っている 	<input type="checkbox"/> 劣っている 
		<p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p>				
	III. 安全対策	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	<input type="checkbox"/> やや優れている 	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない 	<input type="checkbox"/> やや劣っている 	<input type="checkbox"/> 劣っている 
		<p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p>				

工事成績採点の審査項目別運用表

(主任現場監督員)

審査項目	細別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	1. 施工条件等への対応	<p>I 構造物の特殊性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(削)面積、施工距離等の規模が特殊な工事</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 3. その他</li> </ul> <p>(理由: )</p> <p>* 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば<b>4点の加点</b>とする。</p>	<p>(1. について)</p> <p>切土の土工事: 2.0万m<sup>3</sup>以上、盛土の土工事: 1.5万m<sup>3</sup>以上、護岸・築堤の平均高さ: 1.0m以上、トンネル(レール)の直径: 8m以上、ダム用水門の総排水深: 2.5m以上、樋門又は樋管の内空断面積: 15m<sup>2</sup>以上、揚水機械の吐出管径: 2.000mm以上、堰又は水門の最大径間長: 2.5m以上、堰又は水門の径間数: 3径間以上、堰又は原水面積: 5.0m<sup>2</sup>/門以上、トンネル(開削工法)の掘削深さ: 2.0m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積: 10.0m<sup>2</sup>以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積: 30.0m<sup>2</sup>以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深: 1.0m以上、地滑り防止工: 幅1.0m以上、地滑り防止工: 幅1.0m以上、浚渫工の浚渫土量: 100万m<sup>3</sup>以上、流路工の計画高水量: 500m<sup>3</sup>以上、砂防ダムの堤高: 1.5m以上、ダムの堤高: 1.50m以上、転流トンネルの流下能力: 400m<sup>3</sup>/s以上、橋梁下部工の高さ: 3.0m以上、橋梁上部工の最大支間長: 100m以上</p> <p>(2. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。</li> <li>・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。</li> </ul> <p>(3. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用中の道路トンネルの拡張工事。</li> <li>・その他、構造面有難さへの対応が特に必要な工事。</li> <li>・その他、技術面有難さへの対応が必要である工事。</li> <li>・地山強度が低い又は土質が硬いため、FEM解析などによる検討が必要工事。</li> </ul> <p>(4. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。</li> <li>・市街地等の密集地帯での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</li> <li>・監理などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。</li> </ul> <p>(5. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス管、水道管、電線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。</li> <li>・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。</li> <li>・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。</li> </ul> <p>(6. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地での夜間工事。</li> </ul> <p>(7. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DID地区での工事。</li> </ul> <p>(8. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日交通量が概ね1万台以上の道路や片側交互通行の交通規制をした工事。</li> <li>・供用している自動車専用道路等の路上工事で交通規制が必要な工事。</li> <li>・工事期間中の大半にわたって、交通解放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。</li> </ul> <p>(9. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。</li> </ul> <p>(10. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業現場が広範囲に分布している工事。</li> <li>・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。</li> <li>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。</li> </ul> <p>(11. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要工事。</li> <li>・支脚地盤の形状が複雑なため、深部杭基礎等に地質調査を実施するなど支脚地盤を確認しながら再設計した工事。</li> <li>・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。</li> </ul> <p>(12. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</li> <li>・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。</li> </ul> <p>(13. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事。(法面工は除く)</li> <li>・斜面又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。</li> </ul> <p>(14. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。</li> </ul> <p>(15. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。</li> <li>・その他、災害等における危機的措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。</li> </ul>
		<p>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工期等に大きな影響を受ける工事</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事</li> <li><input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事</li> <li><input type="checkbox"/> 10. その他</li> </ul> <p>(理由: )</p> <p>* 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば<b>6点の加点</b>とする。</p>	
		<p>III 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が特に必要な工事</li> <li><input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きい工事</li> <li><input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事</li> <li><input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事</li> <li><input type="checkbox"/> 15. その他</li> </ul> <p>(理由: )</p> <p>* 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば<b>4点の加点</b>とする。</p>	
		<p>IV 長期工事における安全確保への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間を除く)</li> </ul> <p>* 但し、文書注意に至らない事故は除く。</p> <p>(理由: )</p> <p>* 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば<b>6点の加点</b>とする。</p>	
	評価	<p>評価: 点</p>	

※1. 工事特性は、最大20点の点の加点評価とする。

※2. 現場監督員が評価する。「5. 前記工夫」との二重評価は行わない。

※3. 評価にあたっては、現場監督員等の意見も参考に評価する。

工事成績採点の調査項目別運用表

(主任現場監督員)

調査項目	細別	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> ゆいぐるむ材を積極的に使用している。(「ゆいぐるむ材利用状況報告書」により確認) ※1、2 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない

※1：ただし、下記A)及びB)に該当する製品は評価の対象外とする。

A) 特定建設資材廃棄物を原材料とした製品 (路盤材、As舗装材、As舗装材、再生砂等)

B) 「県産建設資材使用状況報告書」で報告している資材 (鉄筋、セメント、マンホール蓋等)

※2：ゆいぐるむ材を「使用可能な箇所」で全量使用した場合に評価する。

## 工事成績採点の審査項目別運用表

(主任現場監督員)

## 法令遵守等の該当項目一覧表

## 審査項目

## 7. 法令遵守等

措置内容	点数
<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	- 20点
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	- 15点
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	- 13点
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	- 10点
<input type="checkbox"/> 5. 文書注意相当	- 8点
<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意相当	- 5点
<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点
<input type="checkbox"/> 8. その他 (理由: )	- 点
<input type="checkbox"/> 9. 該当項目なし	

① 本評価項目(7.法令遵守等)で評価する事例は、工事の施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。

② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。

③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。

④ 総合評価落札方式における技術資料の記載内容(施工計画)及び技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。

## 【上記で評価する場合の適応事例】

1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。
2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。
3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。
4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。
5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。
6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。
7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。
8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。
10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど、下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。
11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。
12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。
13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記載されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
14. 安全管理の措置が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 優れていない ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1号～5号に基づく設計図書の写真を行ってることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目に記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> リサイクルへの取り組みが適切になされている。(ゆいぐるみの材の原則使用) ※1 <input type="checkbox"/> 施工体制・台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 下請けに対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	

※1：特定建設資材廃棄物を原材料とした製品(路盤材、As舗装材、再生砂等)を対象とする。

●判断基準

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「C」評価とする。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、規格外値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、規格外値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、規格外値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、規格外値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、規格外値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行い改善された。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行った。
I. 出来形	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるように、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由: )</li> </ul> <p>※ばらつきは別紙-4参照。</p>						
機械設備工事	優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
※上記欄によらず、当該欄で評価	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるように、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備全体にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由: )</li> </ul> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上..... a</li> <li>評価値が80%以上90%未満..... a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満..... b</li> <li>評価値が60%以上70%未満..... b'</li> <li>評価値が60%未満..... c</li> </ul> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。</p>						

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	電気設備工事・ 通信設備工事・ 受変電設備工事 ※上記欄によら ず、当該欄で評 価	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるように、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備全体にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾書通り敷設していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 (理由： )</li> </ul> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上..... a</li> <li>評価値が80%以上90%未満..... a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満..... b</li> <li>評価値が60%以上70%未満..... b'</li> <li>評価値が60%未満..... c</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。</p> </div>								
		出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。				



工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	護岸・根固・水制工事	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ● 評価対象項目 □ 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。 □ 裏込材及び鋼込コンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 □ 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料の積み合わせは連結が、裏込材の咬み出しが行っていることが確認できる。 □ 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 □ 渡水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及び積み合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ コンクリートにおいて、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 □ 施工にあたって、床面箇所の湧水及び帯水等は、排除して施工していることが確認できる。 □ 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 有害なクラックが無い。 □ その他 (理由: )	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ● 評価対象項目 □ 鋼材の種類又は物理的性質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 □ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 □ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 □ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 □ 塗装作業に当たり、塗装面を十分に乾かしてから施工していることが確認できる。 □ 素地調整を行う場合、第一種クレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 □ 塗料の空き缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 □ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □ その他 (理由: )  【架設関係】 □ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 □ 抗力ボルトの締付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 □ 抗力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 □ 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 □ 仮設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 □ 仮設に用いる仮設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 □ 現場塗装部のクレン及び厚管理を適切に行っていることが確認できる。 □ 現場塗装部において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 □ その他 (理由: )	品質関係のばらつきと評価対象項目の項目は削除する。 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)を計算して評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。			
鋼橋工事  (RC床板工事はコンクリート構造物に準ずる)	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ● 評価対象項目 【工場製作関係】 □ 鋼材の種類又は物理的性質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 □ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 □ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 □ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 □ 塗装作業に当たり、塗装面を十分に乾かしてから施工していることが確認できる。 □ 素地調整を行う場合、第一種クレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 □ 塗料の空き缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 □ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □ その他 (理由: )  【架設関係】 □ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 □ 抗力ボルトの締付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 □ 抗力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 □ 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 □ 仮設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 □ 仮設に用いる仮設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 □ 現場塗装部のクレン及び厚管理を適切に行っていることが確認できる。 □ 現場塗装部において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 □ その他 (理由: )	品質関係のばらつきと評価対象項目の項目は削除する。 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)を計算して評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。					

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																						
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地すべり防止工事 (集水井工事を含む)	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきは別紙-4参照。						品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																						
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</li> <li>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、ｽﾌﾟﾙ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li>運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li>コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li>地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</li> <li>鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li>有害なクラックがない。</li> <li>その他(理由： )</li> </ul> <p>【砂防構造物に適用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート打設まで及び、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</li> <li>鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</li> <li>アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</li> <li>ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</li> <li>その他(理由： )</li> </ul> <p>【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>ライナープレートとの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</li> <li>ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</li> <li>集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</li> <li>その他(理由： )</li> </ul>						品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																						
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p>																														
<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 試験結果の打点数等が少なければらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>									評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	90%以上	a	a'	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																											
	50%以下	80%以下																												
90%以上	a	a'	b																											
75%以上 90%未満	a'	b	b'																											
60%以上 75%未満	b	b'	c																											
60%未満	b'	c	c																											

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	<p>品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt;                  【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】                  ※ ばらつきは判断は別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目                  【路床・路盤工】                  □ 設計図書に定められた試験方法でC・B・R値を測定していることが確認できる。                  □ 路床及び路盤工のブルーローリングを行っていることが確認できる。                  □ 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。                  □ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。                  □ 路盤の施工に先だって、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。                  □ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。                  □ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。                  □ その他                  (理由： )</p> <p>【アスファルト舗装工関係】                  □ アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。                  □ 舗装の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。                  □ プラント出荷時、現場到着時、舗装時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。                  □ 舗装後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。                  □ 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。                  □ 縦継目及び横継目の位置、構造との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。                  □ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。                  □ 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。                  □ その他                  (理由： )</p> <p>【コンクリート舗装工関係】                  □ コンクリートの配合設計及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アロカリ骨材反応抑制等)が確認できる。                  □ 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。                  □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。                  □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。                  □ 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。                  □ 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。                  □ チェアアール及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。                  □ その他                  (理由： )</p>							品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
II. 品質		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)を計算して評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td>ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>a'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> </table>							50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能	a	a'	b	a	b	a'	b	b'	a'	b'	b	b'	c	b	c	b'	c	c	b'	c		
50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能																															
a	a'	b	a	b																															
a'	b	b'	a'	b'																															
b	b'	c	b	c																															
b'	c	c	b'	c																															

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきは評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	b	b'	c	d	e																							
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきは別紙-4参照。				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																							
II. 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)</li> <li>施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</li> <li>盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締め固めを十分行っていることが確認できる。</li> <li>雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。</li> <li>その他 (理由： )</li> </ul> <p>【種子吹付工、客土吹付工、種生基材吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壤試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。</li> <li>ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</li> <li>ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</li> <li>吹付け厚さが均等であることが確認できる。</li> <li>使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li>その他</li> </ul> <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。</li> <li>金網が破損を生じていないことが確認できる。</li> <li>吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</li> <li>吹付け厚さが均等であることが確認できる。</li> <li>吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</li> <li>圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li>不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</li> <li>法面の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</li> <li>その他 (理由： )</li> </ul> <p>【現場打設工関係(プレキャスト法枠工含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>アンカーを設計図書などの長さで施工していることが確認できる。</li> <li>現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</li> <li>強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li>枠内に空隙がないことが確認できる。</li> <li>層間にはく離がないことが確認できる。</li> <li>不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</li> <li>その他 (理由： )</li> </ul>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合「c」評価とする。</p>	<p>● 判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評価値</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超え</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>	評価値	50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能	90%以上	a	a'	b	ばらつきで判断不可能	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c	<p>注) 試験結果の打点数が少なくばらつきは判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>
評価値	50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能																										
90%以上	a	a'	b	ばらつきで判断不可能																										
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																										
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																										
60%未満	b'	c	c	c																										

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																					
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事	<p>品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt;  <input type="checkbox"/> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]                      ※ ばらつきは別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目                      【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打、深礎等)】  <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。  <input type="checkbox"/> 既設杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。  <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。  <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 配筋、スベークの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 真込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。  <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> その他                      (理由: )</p> <p>【地盤改良関係】  <input type="checkbox"/> 改良剤のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定を行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> その他                      (理由: )</p>	<p>品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt;  <input type="checkbox"/> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]                      ※ ばらつきは別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目                      【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打、深礎等)】  <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。  <input type="checkbox"/> 既設杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。  <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。  <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 配筋、スベークの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 真込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。  <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> その他                      (理由: )</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評価値</td> <td>90% 以上</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断可能</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>75% 以上</td> <td>a'</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>60% 以上</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>60% 未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきは判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>	評価値	90% 以上	50%以下	80%以下	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断可能	評価値	75% 以上	a'	a'	b	b	評価値	60% 以上	b	b'	b'	b'	評価値	60% 未満	b'	c	c	c	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。</p>
		評価値	90% 以上	50%以下	80%以下	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断可能																						
評価値	75% 以上	a'	a'	b	b																								
評価値	60% 以上	b	b'	b'	b'																								
評価値	60% 未満	b'	c	c	c																								
	海岸工事																												

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	コンクリート橋上部工事  (PC及びRCを対象)	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> <input type="checkbox"/> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきは別紙-4参照。  ●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレストンギング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> <input type="checkbox"/> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきは別紙-4参照。  ●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレストンギング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。																															
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合「c」評価とする。																																		
		●判断基準																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上 75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		(注) 試験結果の打点数等が少なすぎるときは判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	塗装工事	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> クレーンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから仕様にしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、なかれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接線、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )					品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> <input type="checkbox"/> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> <input type="checkbox"/> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験継ぎ目を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物に保護マルチタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 逆巻の場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由： )	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	トンネル工事					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)を計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
						●判断基準 ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える ばらつきで判断不可能			
						評価値 90%以上 75%以上 90%未満 60%以上 75%未満 60%未満			
						注) 試験結果の打点数等が少なければつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。			
						① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)を計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
						●判断基準 ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える ばらつきで判断不可能			
						評価値 90%以上 75%以上 90%未満 60%以上 75%未満 60%未満			
						注) 試験結果の打点数等が少なければつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。			

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	a	a'	b	b'	c	d	e																									
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ● 評価対象項目 □ 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 □ 樹木などに損傷、鉢くずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 □ 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 □ 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行っていることが確認できる。 □ 肥料が直接樹木の根にふれぬよう均一に施肥していることが確認できる。 □ 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 □ 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 □ 植名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 □ その他 (理由: )					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 □	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
防護柵(綱)・標識・区画線等設置工事	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ● 評価対象項目 □ 防護柵設置要綱、視線誘導線設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 □ 防護柵等の床廻りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 □ 防護柵の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 □ 防護柵の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 □ 基礎設置箇所について地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 □ 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 □ ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設コンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 □ ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%程度以下であることが確認できる。 □ 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 □ 区画線の消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小値となっていることが確認できる。 □ プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 □ 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ その他 (理由: )					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 □	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。																															
	● 判断基準 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>75%以上 90%未満</td> <td>60%以上 75%未満</td> <td>60%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきは判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。								50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	評価値	a	a'	b	b		90%以上	75%以上 90%未満	60%以上 75%未満	60%未満		a	a'	b	b'		b	b'	c	c
	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能																												
評価値	a	a'	b	b																												
	90%以上	75%以上 90%未満	60%以上 75%未満	60%未満																												
	a	a'	b	b'																												
	b	b'	c	c																												
	● 判断基準 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>75%以上 90%未満</td> <td>60%以上 75%未満</td> <td>60%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきは判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。								50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	評価値	a	a'	b	b		90%以上	75%以上 90%未満	60%以上 75%未満	60%未満		a	a'	b	b'		b	b'	c	c
	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能																												
評価値	a	a'	b	b																												
	90%以上	75%以上 90%未満	60%以上 75%未満	60%未満																												
	a	a'	b	b'																												
	b	b'	c	c																												

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																						
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	電線共同溝工事	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> <input type="checkbox"/> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、鋪設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: )				品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> <input type="checkbox"/> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは別紙-4参照。  ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、鋪設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: )	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。  <input type="checkbox"/>																						
当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。																														
●判断基準																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90% 以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75% 以上 90% 未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60% 以上 75% 未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60% 未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	90% 以上	a	a'	b	75% 以上 90% 未満	a'	b	b'	60% 以上 75% 未満	b	b'	c	60% 未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																											
	50%以下	80%以下																												
90% 以上	a	a'	b																											
75% 以上 90% 未満	a'	b	b'																											
60% 以上 75% 未満	b	b'	c																											
60% 未満	b'	c	c																											
(注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値) だけで評価する。																														

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持工事 (薄層工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	● 評価対象項目 □ 使用する材料の品質、形状等が適切であり、かつ現場において材料認定を適宜・適確に行っていることが確認できる。 □ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □ 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 □ その他 (理由： ) □ その他 (理由： ) □ その他 (理由： ) ● 判断基準 ※ 該当項目が6項目以上・・・・・・・・・・ a' ※ 該当項目が5項目・・・・・・・・・・ a' ※ 該当項目が4項目・・・・・・・・・・ b' ※ 該当項目が3項目・・・・・・・・・・ b' ※ 該当項目が2項目以下・・・・・・・・・・ c				品質関係の測定方法は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	● 評価対象項目 □ 使用する材料の品質、形状等が適切であり、かつ現場において材料認定を適宜・適確に行っていることが確認できる。 □ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 □ その他 (理由： ) □ その他 (理由： ) □ その他 (理由： ) ● 判断基準 ※ 該当項目が6項目以上・・・・・・・・・・ a' ※ 該当項目が5項目・・・・・・・・・・ a' ※ 該当項目が4項目・・・・・・・・・・ b' ※ 該当項目が3項目・・・・・・・・・・ b' ※ 該当項目が2項目以下・・・・・・・・・・ c				品質関係の測定方法は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	機械設備工事	●評価対象項目 □ 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 □ 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 □ 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 □ 機器の機能及び性能に係わる成績表が整理され、品質の確認ができる。 □ 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 □ 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 □ 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 □ 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 □ 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 □ 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 □ 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 □ 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 □ 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 □ 二次コンクリートの配合試験及び試験値を記録し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 □ パンプ類の平時の状態を示すラベルなどが見えやすい状態で表示していることが確認できる。 □ 機器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 □ 回送路や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 □ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □ その他 (理由： )	●判断基準 ※ 評価値が90%以上.....a ※ 評価値が80%以上90%未満...a' ※ 評価値が70%以上80%未満...b ※ 評価値が60%以上70%未満...b' ※ 評価値が60%未満.....c	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。			
	電気設備工事	●評価対象項目 □ 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 □ 材料、部品の品質照合の結果が品質証明書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績表にまとめられていることが確認できる。 □ 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 □ ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 □ 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 操作制御設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることも、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 □ 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 現場条件によって機器(製品)機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 □ 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕・更新含む)の場合、修正又は更新)していることが確認できる。 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品や箇所を明示していることが確認できる。 □ 設備の構造において、点検や消耗品の取替作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 □ その他 (理由： )	●判断基準 ※ 評価値が90%以上.....a ※ 評価値が80%以上90%未満...a' ※ 評価値が70%以上80%未満...b ※ 評価値が60%以上70%未満...b' ※ 評価値が60%未満.....c	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。			

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																																					
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	通信設備工事・受変電設備工事	● 評価対象項目 □ 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 □ 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 □ 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 □ 完成図書において、単体の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 □ 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 □ 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 □ その他（理由： ）	a'	b	b'	c	d	e																																					
	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																																					
上記以外の工事 (情報ボックス、塗装工事等)又は合供工事	<A> <B>	優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	d	e																																					
	● 評価対象項目 □ (理由： ) □ (理由： )	品質関係のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【判断基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきは別紙-4参照。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																					
	● 判断基準 ※ 評価値が90%以上・・・・・a' ※ 評価値が80%以上90%未満・・・・・a' ※ 評価値が70%以上80%未満・・・・・b' ※ 評価値が60%以上70%未満・・・・・b' ※ 評価値が60%未満・・・・・c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ② 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ③ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。                 </div>		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>	評価値	90%以上	a	a'	b	b'	c	75%以上90%未満	a	a'	b	b'	c	60%以上75%未満	b	b'	c	c	c	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3">評価値</td> <td>80%以下</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>50%以下</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>ばらつきで判断可能</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> </table>	評価値	80%以下	a	a'	b	b'	c	50%以下	a	a'	b	b'	c	ばらつきで判断可能	a	a'	b	b'	c
評価値	90%以上	a	a'	b	b'	c																																							
	75%以上90%未満	a	a'	b	b'	c																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c	c																																							
評価値	80%以下	a	a'	b	b'	c																																							
	50%以下	a	a'	b	b'	c																																							
	ばらつきで判断可能	a	a'	b	b'	c																																							
	● 判断基準 <A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 例) 塗装工事、取壊し工事等 ※ 評価値が90%以上・・・・・a' ※ 評価値が80%以上90%未満・・・・・a' ※ 評価値が70%以上80%未満・・・・・b' ※ 評価値が60%以上70%未満・・・・・b' ※ 評価値が60%未満・・・・・c なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には「c」評価とする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     &lt;B&gt; 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 評価項目のある場合は削除後の評価項目を分母として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ② 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ③ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。                 </div>		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>	評価値	90%以上	a	a'	b	b'	c	75%以上90%未満	a	a'	b	b'	c	60%以上75%未満	b	b'	c	c	c	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3">評価値</td> <td>80%以下</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>50%以下</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>ばらつきで判断可能</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> </table>	評価値	80%以下	a	a'	b	b'	c	50%以下	a	a'	b	b'	c	ばらつきで判断可能	a	a'	b	b'	c
評価値	90%以上	a	a'	b	b'	c																																							
	75%以上90%未満	a	a'	b	b'	c																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	c	c																																							
評価値	80%以下	a	a'	b	b'	c																																							
	50%以下	a	a'	b	b'	c																																							
	ばらつきで判断可能	a	a'	b	b'	c																																							

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
2. 施工状況 Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
	土工事 (切土、盛土・築造工事等)	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉筋を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
	鋼橋工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
	地すべり防止工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
	舗装工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
	法面工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
2. 施工状況 Ⅲ. 出来ばえ	基礎工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない ● 判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	<input type="checkbox"/> 劣っている
	コンクリート橋上部工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	植栽工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	防護柵(網)工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつづけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
標識工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
区画線工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の滑車が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

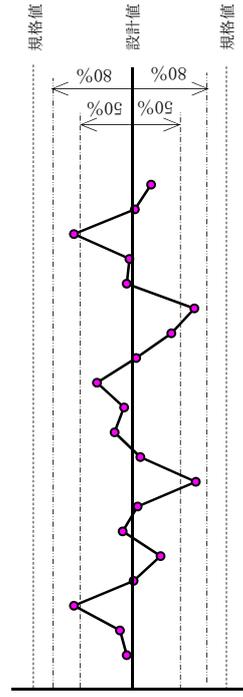
審査項目	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
2. 施工状況 Ⅲ. 出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	<input type="checkbox"/> 劣っている
	電気設備工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<input type="checkbox"/> 判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<input type="checkbox"/> 判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	電線共同工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<input type="checkbox"/> 判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	通信設備工事 受変電設備工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<input type="checkbox"/> 判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	上記以外の工事 又は 合併工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目 (理由： ) (理由： ) (理由： ) (理由： ) (理由： )		<input type="checkbox"/> 判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
		※該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。			

出来形及び品質のばらつきの考え方

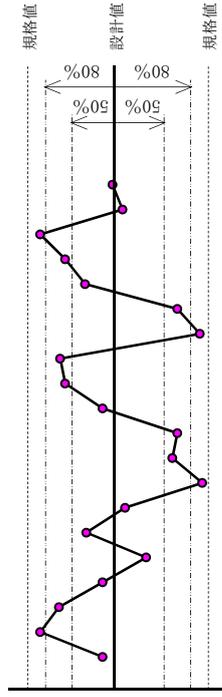
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

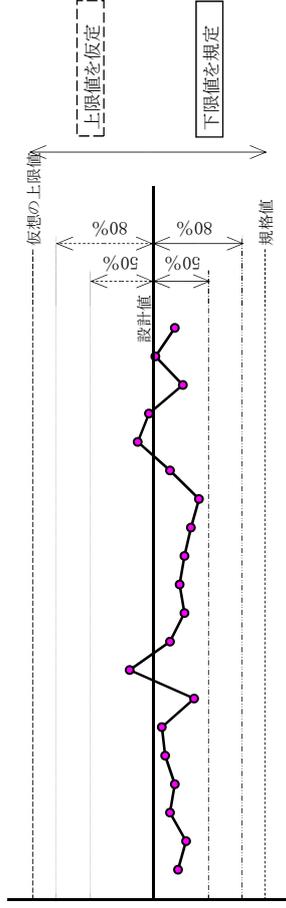
①ばらつきが50%以下と判断できる例



②ばらつきが80%以下と判断できる例

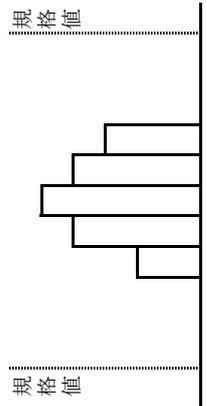


(下限値のみの場合)

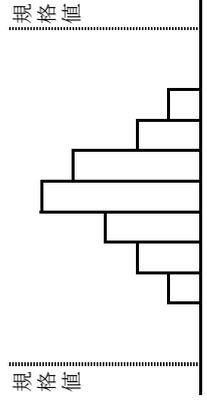


[度数表またはヒストグラムの場合]

ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい

